

記入例 A

(償却資産申告書)

資産の異動が無い場合、該当資産が無い場合でも必ず押印して提出してください。

法人にあっては、資本金または出資金も記入してください。

市内において事業を開始した年号年月を記入してください。

この申告について応答される方の所属、氏名および電話番号、並びに経理を委託している税理士の方等の氏名および電話番号を記入してください。

提出用を提出してください。控用は大切に保管してください。

個人番号または法人番号を記入してください。

令和2年度償却資産申告書

大野市長殿

提出用

※所有者コード 123456789012

1 住所 又は納税通知書送達先 912-0084 大野市天神町1-1

2 氏名 法人にあってはその名称及び代表者の氏名 天神産業 (屋号)

3 個人番号又は法人番号

4 事業種目 (資本等の金額) 食品製造業 (F-109) (10) 百万円

5 事業開始年月 昭和27年4月

6 この申告に回答する者の係及び氏名 大野 太郎 (ΔΔ-0000)

7 税理士等の氏名 福井 太郎 (ΔΔ-◇◇◇◇)

8 短縮耐用年数の承認 有・無 (○)

9 増加償却の届出 有・無 (○)

10 非課税該当資産 有・無 (○)

11 課税標準の特例 有・無 (○)

12 特別償却又は圧縮記帳 有・無 (○)

13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法 (○)

14 青色申告 有・無 (○)

資産の種類	取得価額			
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に増加したもの (ハ)	計 ((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
1 構築物	1500000		2500000	4000000
2 機械及び装置	3000000	1840000	4220000	5380000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具	1160000			
6 工具、器具及び備品	660000		2330000	3490000
7 合計	5660000	1840000	9050000	12870000

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

16 借用資産 (有・無) 貸主の名称等

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考(添付書類等)

入力状況

異動なし	申告書	増加	減少	修正	新規	廃業
------	-----	----	----	----	----	----

申告漏れ資産があった場合には、前年前に取得したものの(イ)の金額を【見え消し】してください。

該当区分を○で囲んでください。

市内における資産の所在地を記入してください。なお、所在地が1カ所だけで、「1.住所」と同一の場合には記入の必要はありません。

借用資産の有無について該当部分を○で囲んでください。なお、借用資産がある場合は、貸主の名称等を記入してください。

・記入する必要はありません。
・電算処理により申告書を作成される場合は、記入してください。

該当区分に○で囲んでください。

解散、廃業、休業、移転または名称変更およびその他特記事項があれば、その旨を記入してください。

(留意事項)

- 平成31年1月2日から令和2年1月1日までに取得した資産、市外の事業所から移動してきた資産および申告漏れ資産について記入してください。
- 今年初めて申告される方は、令和2年1月1日現在、市内に所有するすべての償却資産を記入してください。

記入例 B

(資産が増加した場合)

182052		大野市	
--------	--	-----	--

番号	種類区分	番号	種類区分
1	構築物	4	航空機
2	機械及び装置	5	車両及び運搬具
3	船舶	6	工具、器具及び備品

住所	大野市天神町1-1
氏名	天神産業

※行政区	住所	世帯	※ページ
※所有者コード		枚のうち	
123456789012		枚	

行番	資産の種類	資産コード	資産の名称等 (漢字・カタカナ・数字・英字 で記入してください。)	数量	取得年月日		取得価額 (イ)	耐用年数	減価 残存率 (ロ)	価額 (ハ)	課税標準の特例		増加理由
					年号	年					月	率	
01		AB-00100	駐車場舗装	1	4	31	01	1500000	10				○
02		CD-00200	屋外広告塔(金属製)	1	4	31	04	1000000	20				○
03		EF-00300	指示機	5	5	1	10	2500000	10				○
04		GH-00400	ダブルツイスター	2	5	1	09	1000000	5				○
05		IJ-00500	洗淨機	1	5	1	11	720000	10				○
06		KL-00600	エアコン	5	5	1	11	2000000	6				○
07		MN-00700	タイムレコーダー	1	5	1	06	330000	5				○
08		OP-00800	複写機	1	4	30	12	500000	5				○
09													○
10													○
11													○
12													○
13													○
14													○
15													○
16													○
17													○
18													○
19													○
20													○
小計				17				9550000					

上記種類区分に該当する数字で記入してください。

独自に管理している資産コードがあれば、記入してください。

実際に資産を取得した年号および年月を記入してください。
※年号
昭和…… 3
平成…… 4
令和…… 5

申告書右上の所有者コードおよび年度を記入してください。

増加理由
1 新規
2 中古
3 移動
4 その他
いずれかを○で囲ってください。

・記入する必要はありません。
・電算処理により申告書を作成される場合は、記入してください。

持例
申告漏れ

課税標準特例資産、申告漏れ資産等の特記事項があれば適用欄～欄外に記入してください。

注意 「増加理由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。

取得価額は、その資産を取得するために通常支出すべき金額(引取運賃・荷役費・据付費等の附帯費を含む)をいいます。また、法人税法および所得税法の規定によるいわゆる圧縮記帳については、償却資産の評価上認められておりませんので、当該圧縮額を含めた実際の取得価額を記入してください。

ページごとに数量の合計および取得価額の合計額を記入してください。

減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1・第2・第5から第9までに掲げる耐用年数によってください。

〈留意事項〉

- 平成31年1月2日から令和2年1月1日までに減少した資産および名称・数量・取得年月日等内容に、変更・誤りがある資産について記入してください。
- 今年初めて申告される方、もしくは前年までに償却資産をお持ちでない方には、この用紙を同封していません。

記入例 C

償却が減少した場合
または
資産の内容を修正する場合

182052 大野市		令和2年度 種類別明細書 (一覧表)										※ 行政区 999 住所 888 世帯 1 ※ ページ 1					
※ 種類区分 番号 種類区分		住所 912-0084 大野市天神町1-1 法		※ 所有者コード		1 枚のうち		1 枚目		123456789012		1 枚目					
行番	異動区分	減少	増加	資産の品目番号 (1点No.)	資産コード	資産の名称 (漢字・カタカナ・数字・英字で記入してください。30字以内)	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	1月1日現在理論帳簿価額	1月1日現在評価額	課税標準の特例	課税標準額	税額の特例	事由
号	1	2	3	1	QR-00900	ブロック塀	1	4 07 08	500000	20	0.891	199266	199266		199266		
02	1	2	3	2	0000020000	燃糸機	3	4 00 03	200000	10	0.794	100000	100000		100000		H3.4 1台廃棄
03	1	2	3	2	0000030000	ダブルツイスタ	1	4 07 05	100000	5	0.631	50000	50000		50000		R1.10 廃棄
04	1	2	3	6	0000040000	タイムレコーダー	1	4 19 10	220000	5	0.631	11000	11000		11000		
05	1	2	3	6	0000050000	複写機	1	4 13 12	440000	5	0.631	22000	22000		22000		
06	1	2	3														
07	1	2	3														
08	1	2	3														
09	1	2	3														
10	1	2	3			構 築 物	1		150000				199266				
11	1	2	3			機 械 及 び 装 置	5		300000				150000				
12	1	2	3			船 舶											
13	1	2	3			航 空 機											
14	1	2	3			車 両 及 び 運 搬 具											
15	1	2	3			工 具 器 具 及 び 備 品	2		660000				33000				
合 計							8		5160000				382266		382266		

独自に管理している資産コードがあれば、記入してください。

1 減少
2 修正
のいずれかを、
○で囲んでください。

記入する必要はありません。

記入する必要はありません。
※電算処理により申告書を作成される場合は、記入してください。

数量等の変更により修正があった場合の記入例 (朱書)

平成31(令和元)年中に廃棄等減少した場合の記入例 (朱書)

加除訂正は赤ボールペンを使用してください。
※ 印欄は記入しないでください。

増加事由 1. 新品取得 2. 中古品取得 3. 移動による受入れ 4. その他